

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 国道・技術課
担当課長名:高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自:山口県防府市台道 至:山口県山口市鑄銭司	延長	2.8 km		
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅は、山口県防府市台道から山口市鑄銭司に至る延長2.8kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅は、防府市～山口市における幹線道路の速達性の向上、道路ネットワークの信頼性向上による経済活動支援救急医療活動支援に寄与するものである。</p>				
全体事業費	約240億円	計画交通量	約36,800台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用 便益 分析	B/C	1.2	EIRR	5.2%	総費用	177億円	総便益	218億円	基準年	令和5年
		1.8 [2%]				事業費: 164億円 維持管理費: 13億円 更新費: -億円	走行時間短縮便益: 202億円 走行経費減少便益: 10億円 交通事故減少便益: 5.0億円			
		2.2 [1%]				感度分析	交通量変動 事業費変動 事業期間変動	B/C=1.1~1.4 (変動ケース:±10%) B/C=1.1~1.4 (変動ケース:±10%) B/C=1.1~1.3 (変動ケース:±20%)		
事業の 影響	自動車や 歩行者への 影響	評価項目	評価	根拠						
		渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間は4車線区間に挟まれた2車線区間であるため、車線の絞り込み等により旅行速度が低下し、混雑が発生している。 当該区間の整備により、交通混雑が緩和され、速達性が向上する。 【対象区間の平均旅行速度】 現況:約28km/h ⇒ 整備後:約52km/h 【混雑度】 現況:2.09 ⇒ 整備後:0.70 						
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 死傷事故率は全国平均を上回る箇所が多く、対象区間を含む速度低下範囲には事故危険区間・箇所が2箇所存在。 追突事故の発生割合は、全国平均の約2.1倍である約7割を占めている。 車線絞り込みや沿道出入り等による旅行速度低下が解消し、安全性の向上が見込まれる。 【死傷事故件数】 現況:68件/4年 ⇒ 整備後:約37件/4年 						
	社会全体への 影響	歩行空間	◎	<ul style="list-style-type: none"> 安心して利用できる歩行空間が整備され、地域の安全性が向上する。 【歩道未整備区間延長】 現況:約2.7km(上下計) ⇒ 整備後:0km 						
		住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> 山口・防府保健医療圏で唯一の三次救急医療施設へのアクセスが向上する。 【山口市南消防署～山口県立総合医療センターの所要時間】 現況:約28分 ⇒ 整備後:約25分 						
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域には、中国地方を代表する自動車完成工場や自動車製造関連企業をはじめとする多くの工場等が立地しており、ジャストオンタイムで稼働しているが、交通混雑や交通規制によって、部品供給の遅れ等が発生している。 交通円滑化により、物流の効率化が図られ、地域の経済活動支援が見込まれる。 【鑄銭司団地～自動車完成工場の所要時間】 現況:約21分 ⇒ 整備後:約18分 						
		災害	◎	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間付近において広域防災広場が整備中であり、災害時には円滑な物資輸送や避難等が求められる。 ダブルネットワークが強化され、並行する山陽自動車道等が通行止めの際にも、円滑な交通機能の確保が見込まれる。 						
環境	-	注目すべき影響はない。								
地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> 山口県内観光客数第1位の防府天満宮(年間観光入込客数約119万人)へのアクセスが向上し、周遊性の向上が見込まれる。 								
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定手続き完了(令和6年2月) 山口県知事等より早期事業化を要望 								

採択の理由

費用便益比が1.2と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により、幹線道路の速達性や安全性の向上、道路ネットワークの信頼性向上による地域経済活動・救急医療活動の支援災害等に強い道路ネットワークの確保、観光振興の促進が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

関係する地方公共団体等の意見

【山口県知事】
「一般国道2号台道・鑄銭司拡幅」を予算化することについて同意します。
当該区間の整備により、慢性的な渋滞が解消するとともに安全な交通が確保されることで、物流の円滑化、企業誘致の促進、交流人口の拡大、救急医療機関への速達性・確実性の向上、災害時等における代替機能の強化など、産業力・観光力の強化や地域住民の安心・安全の確保が期待され、その早期整備は地元の悲願です。
山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、山口市・防府市と連携して、関係者との調整、用地取得への協力など、事業の円滑な推進に向けた環境整備や、関連道路の整備に努めるとともに、周辺地域において広域防災広場や産業団地等の整備を進めるなど、当該区間の整備を見越した地域づくりや産業・観光振興に取り組んでまいります。
国においては、国道2号の早期整備に向け、今後とも、事業中区間の整備促進や、当該区間の早期事業化を図られるようお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用便益:便益が費用を上回っている。
手続き等:都市計画決定手続き完了(令和6年2月)